

環境省主催の学生ツアー来訪

「福島、その先の環境へ。」見学会と題した環境省主催の学生を対象としたツアーが開催され、9月2日（土）・9月3日（日）の2日間かけ、それぞれ35名の様々な大学などから参加した学生がトロピカルフルーツミュージアムに来訪しました。なかには中学生もいました。

訪問先は学生自らが企画し、9月2日は「環境再生×福島の食」、9月3日は「環境再生×新産業・新技術」をテーマに多くの質問を受けました。

学生さんにとって、環境問題は未来を生きる彼らの自分事であることを自覚しており、普段から環境問題について考えているようで、質問内容も具体的且つ高度なものでした。



説明を受ける学生たち

広野中学校2年生による職場体験学習

9月12日（火）は7名、9月13日（水）は5名の広野中学校2年生が職場体験学習に来訪しました。

例年迎え入れており、これまではちょっとしたお手伝いをして頂く程度の作業でしたが、今回は普段我々が行っている作業と同様の事をして頂きました。こまめに休憩と水分補給をしながらでしたが、暑い中での作業は大変だったと思います。それでも皆さんしっかり働いてくれました。とても助かりました。



花壇の除草作業



休憩にはかき氷をご馳走



刈り取った草の回収作業

双葉郡8町村を巡るスタンプラリー開催

双葉郡の各町村に有るまちづくり会社が集まる「ふたばエイト」というグループがあります。この「ふたばエイト」で、双葉郡8町村を巡るスタンプラリーを開催します。広野町ではトロピカルフルーツミュージアムにスタンプを設置しております。台紙も置いてあります。

スタンプを4つ集めるとプレゼントにご応募頂けます。8つ全部集めるとご希望の賞品を2つご選択頂けます。プレゼントは各町村の特産品なので、お好きな物をお選び頂けます。

ドライブがてら是非チャレンジしてください。

この原稿執筆時点ではサイトが作られておりませんが、広報ひろのが皆様のお手元に届いた頃には出来上がっているはずですので、「ふたばエイト」でご検索頂くと見つかると思います。



公式サイト



公式インスタ

東京で移住相談、 広野町のPR活動をおこなってきました



広野暮らし相談窓口「りんくひろの」相談員の大森です。9月は2日（土）に東京池袋で開催された「未来ワークふくしま移住セミナー」と、17日（日）に東京有楽町で開催された「ふるさと回帰フェア2023」に参加してきました。

「未来ワークふくしま移住セミナー」の今回のテーマは「農業・食産業で地域のゆたかさをつくる人たち編」でした。原発の被影響を受けた12市町村で農業、食産業に関わる方々の活動内容紹介、ディスカッション、座談会、相談会を行いました。今回、移住セミナーに参加した2名の方から移住相談を受けました。お二人とも60歳代の方ですが、影響を受けた自治体で何か力になりたいという方々でした。お一人は広野町で就農体験を行いゆくゆくは広野町に移住したいと考えている方で、もう一人は、広野町で無農薬農法の米作りを行い、お米の価値を高めていきたいという方でした。今後、相談員として広野町の農業法人と連携しお二人の受け入れを進めていけるように準備していきたいと思います。引き続き、広野町の農業活性化を図れるように、農業法人と連携し就農希望者受け入れに向けて取り組んでいきたいです。

「ふるさと回帰フェア2023」ではイベント企画の「日本全国ふるさとマルシェ」に株式会社広野町振興公社の方と参加し、「朝陽に輝く水平線がとても綺麗なみかんの丘のある町のバナナ（愛称：綺麗）」と綺麗をフリーズドライした粉末を使用してふたば未来学園の生徒が作っている「ふたばバナナクッキー」「未来ドーナツ」「学園マドレーヌ」を販売してきました。また、来場者の皆さんにお声がけしながら広野町のPR活動を行ってきました。「日本全国ふるさとマルシェ」には約5,000人の方がおとずれ、幅広く広野町PRができたものと思います。引き続き、首都圏に出向き広野町のPR活動、情報発信を行ってまいります。

